

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	ハザードマップ見直し事業		担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	地域防災計画、津波避難計画、地震津波対策推進計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 25 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終期
(小項目)					
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 全市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	非常時に安全かつ的確な避難行動が行えるよう、住民一人一人の防災意識を高める。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	①「土砂災害・洪水ハザードマップ」について、カラーユニバーサルデザイン認証を取得した後に印刷を行い、全戸配布する。 ②市内のため池が地震により決壊した場合の被害の範囲や避難行動の取り方等を示した「ため池ハザードマップ」を作成する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		ハザードマップの作成	津波HM印刷・配布 土砂・洪水HM作成・公表	土砂・洪水HM印刷・配布 ため池HM①作成・公表	ため池HM①印刷・配布 ため池HM②作成・公表	ため池HM②印刷・配布 土砂・洪水HM修正・公表	土砂・洪水HM印刷・配布	

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①「土砂災害・洪水ハザードマップ」の印刷物について、カラーユニバーサルデザイン認証を取得し、市内全戸配布を行った。 ②市内8箇所のため池を対象に「ため池ハザードマップ」を作成し、市公式ウェブサイトにて公表した。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
活動指標	実施した事業の活動量を示す指標	指標名	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
		1 ハザードマップ周知	○	○	○	○	○	
成果指標	対象にどのような効果があったか示す指標	ハザードマップの作成	津波HM印刷・配布 土砂・洪水HM作成・公表	土砂・洪水HM印刷・配布 ため池HM①作成・公表	-	-	-	
		目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	18,000	0	0	4,768	22,768
		全体予算額		0	6,000	0	0	9,768	15,768
		決算額		0	6,000	0	0	6,256	12,256
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.2	0.0	1,372		13,628			

【事務事業名：ハザードマップ見直し事業】
(千円)

年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度	
事業費推移	事業費	1,182	12,256	11,302	-	-
	うち一般財源	1,182	6,256	7,302	-	-
	人件費	1,376	1,372	1,372	-	-
	総事業費	2,558	13,628	12,674	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目	評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性 A:有効性があった	「土砂災害洪水ハザードマップ」については、カラーユニバーサルデザインの認証を取得し、色覚の個人差を問わず情報を入手できるよう配慮した。 「ため池ハザードマップ」については、作成過程で住民説明会を開催するとともに、作成後は市公式ウェブサイト等で周知を図り、地域の方にため池の危険性等について関心を持ってもらうことができた。
	効率性 A:効率的だった	カラーユニバーサルデザインについての知識を有する団体に業務を委託し、検証合格に向けて効率的にデザインの検討を行えた。
②成果に対する評価	指標名 ハザードマップの作成	ハザードマップ作成の目的である地域の危険性の把握と災害時にとるべき行動の周知等を図ることができた。
	目標 土砂・洪水HM印刷・配布 ため池HM①作成・公表	
	実績 土砂・洪水HM印刷・配布 ため池HM①作成・公表	
	評価 A:目標を達成できた	
③総合的な評価	A	「土砂災害・洪水ハザードマップ」については、作成・公表だけでなく、カラーユニバーサルデザインの認証を取得し、市内全戸に配布するなど、情報が誰にでも伝わりやすいよう工夫できた。また、「ため池ハザードマップ」については、作成過程で住民説明会を開催するとともに、作成後は市公式ウェブサイト等で周知を図り、地域の防災意識の向上を図ることができた。以上のことからA評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①平成27年度同様、ハザードマップの作成を計画しているため池について「ため池ハザードマップ」の作成を進める。②土砂災害警戒区域等の追加指定及び吉野川・旧吉野川の洪水浸水想定の見直しがあったことから、「土砂災害・洪水ハザードマップ」の見直しを行う。③平成27年度の水防法の改正により「内水ハザードマップ」や「高潮ハザードマップ」の作成が義務化されたことから、各種ハザードマップについて、国・県の浸水想定区域の指定状況等を勘案しながら、作成を検討していく。④将来的に、各種ハザードマップを集約した総合防災マップの作成を検討する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	県のため池一斉点検の結果や農林水産課との協議を踏まえ、ハザードマップ未作成のため池を対象とした「ため池ハザードマップ」の作成を行う。 平成27年度に作成した「ため池ハザードマップ」について、カラーユニバーサルデザインの認証を取得し、関係する地域に戸別配布する。			
	平成29年度	平成28年度に作成した「ため池ハザードマップ」について、カラーユニバーサルデザインの認証を取得し、関係する地域に戸別配布する予定。 土砂災害警戒区域等の追加指定、国の洪水浸水想定(吉野川・旧吉野川)の見直しがあったことから、「土砂災害・洪水ハザードマップ」について、修正を行う予定。			